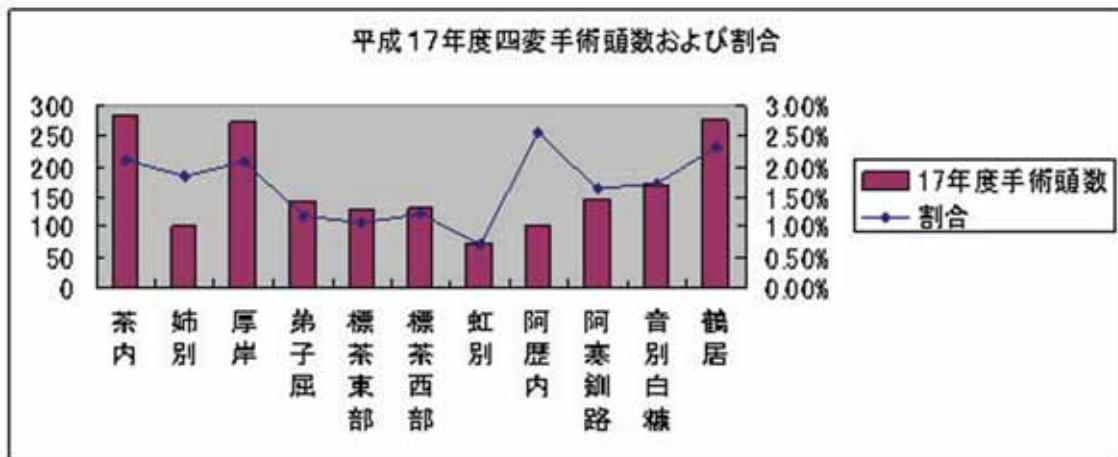


四変部会から

四変を減らすには、まず工サから!!

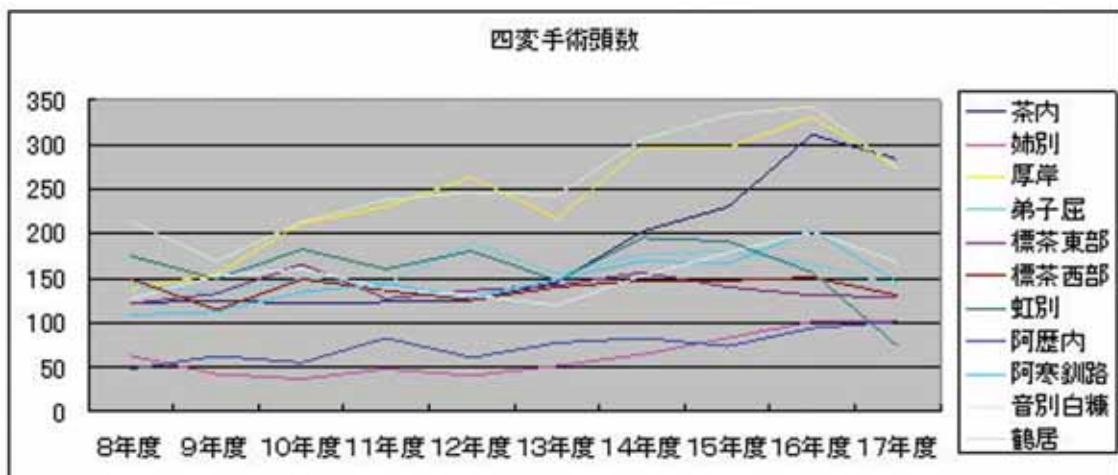
今月は四変情報交換会（以下四変部会）について紹介したいと思います。四変部会は「釧路から四変を減らしたい！」と熱い思いを有する獣医師が各診療所から集まり、毎回白熱した議論を交わしています。

はじめに平成17年度に各診療所において行われた四変手術頭数、および乳用成牛加入頭数に対するその割合についてグラフに示しました。



茶内、厚岸および鶴居では手術頭数が多めになっています。加えて割合も高くなっています。一方、姉別および阿歴内では手術頭数は少ないものの割合は高くなっています。次に過去10年間の四変手術頭数の推移を示しました。

全体的に四変手術頭数が増加しています。特に茶内、姉別、厚岸、阿歴内および鶴居において過去10年間で2倍近くになっていることは見逃せません。



それでは、なぜこのように四変手術頭数が増加してきたのでしょうか？原因の1つにフリーストール牛舎導入に伴う大規模化が考えられます。特に四変手術頭数の増加が顕著な地域では大規模化の傾向が強いです。飼養頭数の増加によって必然的に1頭あたりの草地面積は減少するので配合飼料を多給するようになり、その結果四変が増えてしまうのです。

四変は第四胃内にガスがたまり、本来あるべき位置から左右どちらかに変位してしまう病気です。このガスがたまってしまう原因は完全にはわかっていません。しかし、エサが関与していることは間違いありません。「配合飼料を食べさせ過ぎると四変になりやすい」や、「分娩後食欲の悪い牛が四変になりやすい」などということは皆さん実感されていると思います。

そこで四変部会では「四変を減らすには、まずはエサからだ！」との考えに基づき、エサについての知識を深めることを目標に、NRC飼養標準の読解を始めました。毎回テーマを決めて議論しながら知識を深めていきたいと思っています。他にも海外や国内の文献を読んだり、様々な角度からデータを収集してみたりと活動は幅広いです。四変に関して疑問や要望を持っている組合員の方はお気軽に獣医師に相談してみてください。

(阿歴内家畜診療課 大谷 誠)